



八幡公民館のいきいき学級スタート!

5月10日(金)、開講式に続き「いすに座ってやさしいストレッチ」と題して、スポーツ推進員を講師に健康講座が行われました。

上の写真は、トレーニングチューブを使っでの運動です。みなさんでいい汗をかきました。

特集 わがまちの自慢

《主な掲載記事》

新分館長さんに聞きました	2
令和6年度 分・支館長・編集委員の紹介 ..	3
公民館人事・公民館に期待すること	4
特集 わがまちの自慢	5
サークル紹介	6
リレーエッセイ	7
もっと知りたいふるさと	8
(八幡地区)	

令和6年度 分・支館長の紹介 (敬称略)

戸倉公民館

分館名	分館長
磯部	下崎 邦政
福井	坂口 正英
新戸倉温泉	池田 勝
上町	小坂橋典仁
上中町	加藤 千洋
中町	宮本 敏彦
今井町	兒玉 国彦
柏王	塚田 隆哉
戸倉温泉	畑山 昌也
若宮	滝澤 隆雄
芝原	高松 正三
仙石	小松 寛
羽尾第四区	小山 嘉嗣
羽尾第五区	森 和博
須坂	坂田 和英
黒彦	小林 仁志
上徳間	齋間 紀一
内川	島田 芳国
千本柳	兒玉 正宏
小船山	寺嶋由紀雄

八幡公民館

分館名	分館長
代	祢津 忠二
大池	佐藤 貴男
姨捨	宮坂 和彦
峯	長谷川哲男
中原	宮下 清一
郡	北川原 晃
上町	柳澤 和明
辻	丸山 一輝
新宿	北村 和久
森下	北里 隆
北堀	太田 治
志川	山崎 申一

埴生公民館

分館名	分館長
寂時	宮坂由紀夫
鑄物師屋	轟 和男
打沢	中曾根正彦
小島	坂本 淳
桜堂	待井 正充
杭瀬下	鳥川 健二
新田	西本 吉伸
中	坂口 和宏

稲荷山公民館

分館名	分館長
荒町	森山 昌俊
中町	高野 陽一
本八日町	内山 範彦
上八日町	森 裕介
治田町	松島 克信
元町	渡邊 裕樹
小坂	宮本 祥次
東区	五十嵐 功
中区	齊藤 直樹
西区	和田 利彦
大田原	松林 正光

屋代公民館

分館名	分館長
屋代第一	渡辺 英治
屋代第二	村田 健
屋代第三	岡田 友昭
屋代第四	南澤 芳美
屋代第五	勝野 二郎
屋代第六	手塚 徹
森東	宮尾 千幸
森西	黒岩 一郎
倉科	多羅澤行雄
雨宮	袖山 茂
土口	平林 健一
生萱	細井 行一

上山田公民館

支・分館名	支・分館長
力石	高島 彰一
新山	市川 昌幸
漆原	寺澤 通彦
三本木	鹿田 次郎
八坂	鹿田 紀男
中央	西沢 修一
城腰	西澤 誠夫
温泉	千野 芳文



令和6年度 編集委員です

- 令和6年度 編集委員
- ◎小林いせ子(稲荷山)
◎飯島 孝則(戸倉)
吉澤 勝博(屋代)
嶋澤 正義(屋代)
金井與志雄(埴生)
小川 悦子(埴生)
竹内 正博(稲荷山)
久保田唯夫(八幡)
本山 育人(八幡)
久保田茂保(戸倉)
- 神尾 弘晃(屋代)
近藤 美加(埴生)
小林 宏美(稲荷山)
井尻 典明(八幡)
荒井 茂夫(戸倉)
柄沢 希実(戸倉)
西澤 正樹(上山田)
- 主事 ◎委員長 ○副委員長
水田 宏美(上山田)
鹿田 清子(上山田)

新分館長さんに聞きました

4月から各分館・支館の活動が新しいスタートを切りました。その活動の中心となる各地区の新分館長さんに次の①②について聞きました。

①分館の主な活動計画
②地域の皆さんへのメッセージ

第2分館長(屋代)
村田 健



①屋代第2分館では、本館主催の野球大会などのほか、10月に区民全員が参加する「ふれあい祭り」や1月に小学生を対象とした「書き初め」などの行事を計画しています。
②昨年から分館事業が通常に戻りつつあるため、地域住民の親睦を高められるような事業を模索したいと考えています。1年間、役員一同頑張りますので皆様のご支援とご協力をお願いします。

小島分館長(埴生)
坂本 淳



①敬老会での記念品配布、秋のマレットゴルフ大会、人権研修会のほか新たに親睦を兼ねたポッチャ体験を行います。また、本館事業に進んで参加します。

②新型コロナウイルスが5類になりましたが、インフルエンザとともに流行時がありますので今年度も感染症対策をとりながら事業を進めていきます。区民の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いします。

西区分館長(稲荷山)
和田 利彦



①本館主催の分館対抗球技大会

森下分館長(八幡)
北里 隆



①昨年度より、本館主催のポッチャ大会など新しいレクリエーションが始まりましたので進んで参加します。森下分館としては、マレットゴルフ大会を予定しています。

②コロナ禍で行事が何年もちに追い込まれ、昨年度より正常に戻ってきました。「初めて参加した」という声を大事

会、ポッチャ体験会への参加に加え、分館主催の佐野薬師お花見の会、夏まつり、マレットゴルフ大会、敬老会等を計画しています。
②コロナ禍で中断されていた公民館活動も、やっと実施できる状況になってきました。再開させるためには大きなエネルギーが必要ですが、区民の皆様とのコミュニケーションを図るために、時代にマッチした行事内容を考えながら活動していきたいと思っています。皆様のご支援とご協力をお願いします。

千本柳分館長(戸倉)
児玉 正宏



①分館行事は6月に分区分抗野球大会、ソフトバレーボール大会、8月は盆踊り大会、10月は人権教育研修会、11月には文化祭を予定しています。

②昨年はコロナが5類となり分館事業再開となる予定でしたが、天候やコロナ、インフルエンザ等の流行により事業を行うことができませんでした。先のことはわかりませんが、一つ一つの事業が行えるように願っています。若輩ではありますが精一杯努力します。皆様のご支援とご協力をお願いします。

に、親睦を深めていける活動にしたいと思っています。さまざまな方々に知恵をお借りして取り組んでいきます。令和6年度は、以前の状態を取り戻しつつ、安全第一を考慮し、区民の皆様と公民館活動を進めます。

新山分館長(上山田)
市川 昌幸



①6月に行われるソフトボール、ソフトバレーボール大会を皮切りに、7月に温泉夏祭り、9月に敬老会、10月には運動会、人権教育研修会等を予定しています。
②新型コロナウイルスも5類に分類されてから1年が過ぎました。4年中断されていた分館の旅も今年は復活の予定で動いています。

分館の各種活動、行事は地域住民の親睦を深める場でもあります。大勢の皆様に参加をお待ちしています。

市民講座 開講

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。参加には入場券が必要です。

入場券は6月4日(火)から6月24日(月)まで最寄りの公民館で配布します。

日時: 6月30日(日)午後1時30分から

会場: 信州の幸あんずホール(更埴文化会館)

講師: 平井 信行氏(気象予報士)

講演テーマ: 「気象・防災情報の見方と使い方 ~気象・災害から命を守るために~」

公民館人事

4月1日付で各公民館の正副館長が、市教育委員会から次のとおり任命されました。

新任は、屋代公民館長に荒井芳郎氏（倉科）、埴生公民館長に長島克彦氏（中）、戸倉公民館長に荒井茂夫氏（内川）、上山田公民館長に合津誠三氏（中央）、埴生公民館副館長に北島正光氏（杭瀬下）の5名です。

また、3月31日付で退任されたのは、次の5名です。

屋代公民館長の高木俊雄氏は2年間、埴生公民館長の寺沢昭夫氏は5年間、戸倉公民館長の坂田博氏は2年間、上山田公民館の竹鼻泰晴氏は4年間、屋代公民館副館長の飯



埴生公民館 館長
長島 克彦 氏



屋代公民館 館長
荒井 芳郎 氏



上山田公民館 館長
合津 誠三 氏



戸倉公民館 館長
荒井 茂夫 氏

館長からひと言

上山田公民館長
合津 誠三

日頃は、公民館事業にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

公民館は、地域と深く関わり合いながら最も身近な学びの場や交流の場として「つどい、まなび、つながり」を理念に地域づくりの役割を果たしています。

しかし、コロナ禍で各公民館では、事業の中止や変更を

島章彦氏は3年間、それぞれ務められました。

なお、その他の正副館長は再任されました。引き続きよろしく願います。

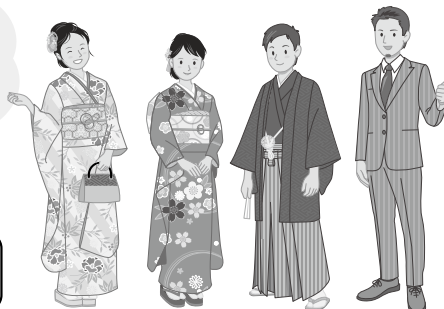
公民館に期待すること

八幡 小林 京子

長野県内の公民館の数は、全国で1位だそうです。八幡にも本館と12の分館があります。公民館活動も盛んに行われています。

高齢化社会で元気なお年寄り、いろいろな講座に参加したり、同じ趣味を持つ仲間と交流したり、生き生きと生活している姿を目にします。皆さんピンピンコロリを目指して頑張っているとか。

当日配布するしおりの作成や式典運営などに携わってませんか。



成人式典実行委員を募集します!

成人式典:令和7年1月12日(日)

対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人

応募期限 令和6年6月28日(金)

お問い合わせ…
埴生公民館 (式典当番館)

TEL: 026-272-0055
FAX: 026-272-7168

特集 わがまちの白慢

「堤防の守護神」

本八日町元世話人代表

稲荷山 塚田 民男

稲荷山温泉から県道を南へ向かうと、幾重にも赤い幟旗が並ぶお稲荷様があり、バス停には「穴守稲荷神社」と書かれています。

地元本八日町の言い伝えでは、現在の羽田空港近辺の開墾地の堤防の腹部に大穴が生じ、水害が発生しました。このため、堤防上にお稲荷様を祀ったところ、風や波の害がなく五穀豊穡となり、穴が災いする堤防決壊を防ぎ、田畑が守られたので「穴守神社」と名付けられたそうです。

例祭の時期が近づくと、本八日町では5名の世話人が準備にかかります。まず、多くの方々からご寄進をいただいた奉納幟旗の取り換えを2年に一度行います。真新しい朱の幟旗に取り換えた後は見違えるほどきれいになり、お祭り気分が高まってきますが、

の主人が、その分神を本八日町に祀ったところ、稲荷山の堤防は決壊することは一度もなかったそうです。

稲荷山の「穴守稲荷神社」は地元の本八日町の区民により大切に維持され、愛されています。特に、祀られているお稲荷様の一对の使いのキツネに、地元の温かい心づくしで冬の間には毛糸の帽子をかぶせ、寒さから守っています。

「穴守稲荷神社」は毎年立春の後の最初の午の日、春季は4月吉日、秋季は9月吉日に例祭が執り行われています。



穴守稲荷神社



お稲荷様の使いのキツネ

城山史跡公園「荒砥城跡」

千曲市歴史文化財センター

上山田 寺島 孝典

夜、山の中腹に戸倉上山田温泉の赤いネオンが光り輝く場所があります。

ここは城山（千曲市大字上山田字城山）と呼ばれ、山頂には「荒砥城」という戦国時代の山城が築かれていました。荒砥城は、東北信一帯を治めていた村上氏の支族にあたる山田氏の城で、大永4（1524）年ごろの築城と伝わっています。

甲斐の武田信玄（晴信）と越後の上杉謙信（長尾景虎）が、実に12年もの長きにわた

り北信濃の支配権を争った川中島の戦いはとても有名な話ですが、その中で荒砥城も、武田軍に奪われたり上杉軍が奪い返したりと、戦禍に巻き込まれていきます。

そして天正12（1584）年、山城としての役割を終えた荒砥城は、廃城となります。その後、この場所には、昭和42（1967）年に遊園地や動植物園など観光客向けの施設が建設されました。

山頂には、小さいながらも観覧車があったり、ふもとの温泉街から行き来できるロープウェイもあって、多くの人で賑わいましたが、徐々に来園者は減少していき、平成2（1990）年に閉園となってしまいました。

貴重な観光資源を失った当時の上山田町は、荒砥城を現代に甦らせようと、専門家や学識経験者からの意見を参考にしながら構想を練り、平成7年6月に城山史跡公園「荒砥城跡」として開園しました。開園以来年間2万人ほどの観光客が荒砥城を訪れていますが、戦国時代の山城という特異な施設であることからNHK大河ドラマのロケ地としても選ばれ、「風林火山」や「江」の撮影が行われました。館や兵舎、櫓、曲輪などが再現された荒砥城は、戦国時



復元された櫓や曲輪



城山史跡公園「荒砥城跡」全景

サークル紹介

ふるさと千曲市の

草木に学ぶ会

屋代公民館 荻原 重明

「ふるさと千曲市の草木に学ぶ会」は、令和5年4月に屋代公民館成人講座「草木に学ぶ会」の参加者を中心に設立した新しいサークルです。

身近な山や公園を、あるいは河川敷や遊歩道を植物観察の場所とし、目にした植物から自然を学ぶことを目的としています。観察会は2時間ほどの散策です。参加者と講師の先生と一緒に、植物の見分け方やその特徴などを学びな



更埴中央公園観察会



講義中の永井茂富先生

彫和クラブ

夢中になれる趣味を

戸倉公民館 飯島 季之

私たち「彫和クラブ」は戸倉創造館の成人講座講師谷井先生の指導のもと学んだ人たちの集まりです。会員は現在11名で毎月第2、4木曜日の午後活動しています。この木彫は上田地方の農民美術を由来とし、昔、冬の長い信州の農閑期を利用し、郷土色豊かな工芸品を作った楽しいのではないかと考えたのが始まりだと言われています。

木彫を始めると夢中になり時間を忘れて、作品が形になるのが何よりの喜びで楽しんでいます。上手く彫れなくても、自分で彫った喜びは、ひとしおでもあります。

手先を使うことで、老化防止に役立つこと、メンバー相互の親睦を図り、次はどんな作品を手がけるか、話し合うのも楽しい時間です。

作品は、戸倉創造館の展示発表会や地元の文化祭に出品したり、友人や親戚の祝い事に記念として贈り喜ばれています。

コロナ禍以前は富山県の井波彫刻の町に研修旅行に行くなど、仲間との交流を大切に



木彫に熱中！

しています。皆さんも夢中になれる趣味を一緒にやりましょう。

写経倶楽部

稲荷山公民館 堀内 祐子

写経倶楽部は昨年11月に発足したばかりのサークルですが、現在26名の方が体験されています。昨今写経は老若男女問わずブームになっています。声を掛けると「やってみたいかった」と言う方が多くて驚きます。

写経の効果としては、集中力・忍耐力の向上、字の上達、幸福感を感じることができると等が挙げられます。

先祖供養、所願成就、個人の修行などを目的としてお



精神統一して写経に取り組んでいます



り、皆様のお役に立つ話も提供しています。サークルは月2回、火曜日の午後2時から行っています。来たい時、来られる時に参加できるサークルです。写経に関心のある方の参加をお待ちしています。



ニューヒーロー

屋代 塚田ひかり

私は現在、岡学園という専門学校に通っています。その学校では自分でテーマを決めて展示物を作る制作展があります。自分はどんなテーマにしようかと考えていたときに地元の戦国武将「屋代秀正」の存在を知りました。

それまで屋代秀正のことはまったく知りませんでした。それにおそらく地元での知名度も低いように思いました。

しかし、調べるととても面白い人生を歩んでいることがわかりました。信濃の大大名村上義清に長く仕えた秀正でしたが、真田氏から誘われて村上氏を裏切り、武田氏につきます。武田氏に仕えたはいのですが、長篠の戦いで織田信長に敗れ、武田氏は滅んでしまいます。主君を失った秀正が次の主君に選んだのは上杉氏。なんとそこでの直属の上司は、かつて裏切ってしまった村上氏の人間でした。そこからは色々とあつて最終的には徳川家康に仕えます。

ざっと来歴を書きましたが、調べてみると、これほどドラマチックな生き方をしてきた屋代一族に俄然興味が湧きました。そこで、専門学校の制作展では屋代一族を多くの人に知ってもらえるようにイラストつきのボード「屋代秀正の四大事件簿」を作ったり、市川製菓さんとコラボして「秀正饅頭」を製作しました。屋代一族を振り返ると結果

的に勝ち組になります。しかし、そこにたどり着くまでにはさまざまな決断に迫られ相当苦労したと思います。すべては家や町を守るためだったようです。この波乱万丈な生き方や存在をもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。「屋代秀正は地元のニューヒーローになる」そんな魅力的な武将だと私は思っています。



屋代秀正の四大事件簿

「平和への思い」 記事募集

8月の終戦記念日に合わせ「平和への思い」を募集します。

戦中戦後の生活、平和について考えることなど内容は問いません。

400字詰原稿用紙2枚から3枚程度にまとめ、写真などがありましたら付けていただき、**6月14日(金)**までに、最寄りの公民館にお出しください。

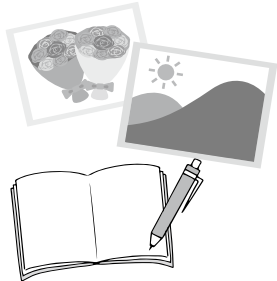


写真、エッセイなどを募集

公民館報編集委員会では、広く市民の皆さんに参加していただき、より親しまれる内容の館報にしたいとの思いから、館報の表紙を飾る写真やエッセイ、わがまちの自慢など原稿を募集しています。

また、館報に対するご意見ご感想などもお寄せください。

なお、詳細については最寄りの公民館にお問い合わせください。



短詩型文学祭 作品募集

千曲市と坂城町で構成する更埴公民館運営協議会では、第29回更埴地区短詩型文学祭を開催します。

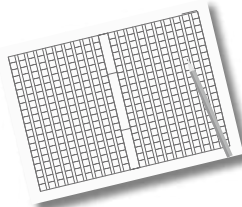
応募要領と投稿用紙は最寄りの公民館に用意してありますので、奮ってご投稿ください。

【募集期間】 7月1日(月)～8月31日(土)

【募集部門】 短歌・俳句・川柳・現代詩

【投稿料】 応募用紙1枚につき500円
(小・中・高校生は無料)

【投稿先】 各公民館



※「館報ちくま」及び「もつと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もつと知りたい ふるさと

(98)

仏事としての大頭祭 くかわる伝統・つくられる伝統

はじめに

武水別神社で毎年12月10日から14日（御供積みまで含めれば15日）にかけて行われる大頭祭は、400年以上の歴史と伝統を持つ北信地方有数の大祭であるとともに、八幡地区の冬の風物詩でもあります。とくに斎森神社から武水別神社までの頭人行列（お練り）は、古式ゆかしい神事として見どころのひとつとなっています。

ところが、私たちが当たり前のように見て、知っているこの古式ゆかしい神事が、明治維新にともなう廃仏毀釈の影響で大きく変わっていることをご存知でしょうか。

一 頭人装束の変化

大頭祭では、各地区から選ばれた5人の頭人が、1日に1人ずつ、その年に収穫された新穀を神前に奉納します。頭人のうち三番頭が最も格が高く「大頭」と呼ばれ、大頭祭の名称もそれに由来します。また、明治時代以後は、新穀を奉納するという祭事にちなみ「新嘗祭」とも呼ばれています。

夜練りとは、三番頭（大頭）だけが行える神事で、現在では、12日昼のお練りの翌日13日の夜に、頭人一行が大鳥居前から拝殿まで行列して進み、その後拝殿で御幣頂戴な



江戸時代：数珠
「八幡大頭祭絵巻」



現在：水晶の勾玉

ばれていました。祭事の当日は「神」となる頭人が、仏具を身にまとっていたのです。

散米役・頭人・副頭・差添役は、先達に続いてお練りしますが、そのうち頭人は首から水晶の勾玉をかけているため一目でわかります。ところが江戸時代の大頭祭は、勾玉ではなく、仏具である数珠をかけていました。これに関連して、頭人一行のうち相散米役と散米役は、江戸時代まではそれぞれ相数珠取、数珠取と呼ばれていました。

どの神事が行われています。市指定文化財の「獅子面」「伎楽面」はこの時にしか見ることができません。

しかし、夜練りも江戸時代から大きく変わっています。江戸時代の大頭祭の様子を描いた「松代藩五大祭絵巻 八幡大頭祭絵巻」（長野市「真田宝物館」所蔵）を見



江戸時代の夜練り「八幡大頭祭絵巻」

ると、法華経八巻を持った8人の後ろに頭人が続き、さらに頭人から出ている「善の綱」らしき綱を持つ女性たちが描かれています。この行列が本殿を3周したのち、拝殿で法華八講が行われました。つまり、江戸時代までの夜練りは、「行道」＋「法華八講」という仏事そのものだったといえます。実際、江戸時代の大頭祭は「御八講」とも呼ばれていました。現在でも御供積みで使われる「オハコビツ」（御八講櫃）にその名称を残しています。

ろが明治時代になると、神道国教化のもと、仏教的な要素を廃して「神事」として純化されるようになります。それにともない頭人の装束が変わり、大頭祭の呼び方も「御八講」から「新嘗祭」へと変わりました。つまり、いまの私たちは、変わってしまったモノ・コトを400年以上の歴史と伝統を持つ、古式ゆかしい神事として見ていることになりました。

「伝統」という時、少し立ち止まって見直してみると、新たな歴史の一面が見えてくることを、大頭祭の歴史はいまの私たちに教えてくれています。

千曲市武水別神社
神官松田邸学芸員
中島 丈晴

編集後記

中学歴史を内容とする3年越しの講座が3月に閉講した。もう一度歴史を学び直してみたいと意欲を持った受講生ばかりで、「教養Ⅱ今日用がある」つもり参加の私は大いに感化された。

女性の高齢者が大半で、先生の問い掛けにもすぐあちらこちらから反応の声が上がり学びに年齢はなかった。「学校時代の勉強はテストのための勉強だった。ここでは興味を持って楽しみながら学習が進み、実となる」と切実に思った。

学ぶことの楽しさを教えてくれた先生に受講者総意で惜別と感謝の気持ちを込めて花束を贈呈した。

本年度も公民館では「学ぶ喜び」「出会う楽しみ」をコンセプトに成人講座を開講した。学びの体験を求めて31の講座に延べ500人以上もの方々が参加し5月に閉講した。